

長泉麗峰山の会・	文・北村 写真・後藤、北村
山行番. NO. 2024	
日時 2024年1月13日(土) 晴・強風	
山域 北伊豆・発端丈山(ほったんじょうざん・410m・北東尾根)	
コース 城山駐車場 8:00—長瀬・熊野神社 9:00—四等三角点「一之洞」 10:20 一般登山道に合流 10:30—発端丈山 山頂 11:20 一昼食 11:30—12:00 —城山 山頂分岐 13:00—城山 山頂 13:20(井上、伊藤、山田、松永、北村 =5名) —城山登山口 13:58—救急法講習会 14:03~14:40 —新年の集い 大仁「ひとやすみ」 15:10~17:10—現地解散	
標高差 上り=約360m(累計約534m)、下り=約380m	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 <b>レ普通</b> やや易しい 易しい	
<b>大人数でワイワイ・ハイキング&amp;新年の集い</b>	
参加者 CL 後藤、救急法・加藤、SL 井上、伊藤、勝又、合谷、斎藤、松永 コース先達 山田敬、北村=10名	

2024年の初ハイキングは伊豆の発端丈山。登頂後は加藤さんから救急法の講習会、下山後は、大仁のレストランで新年の集いと内容も盛りだくさん。ハイキング・アルパイン合同で参加者10人の賑やかな山行に参加させていただいた。

私は、この日に参加された斎藤さんとは初対面、勝又さんは登山でのご一緒が初めてと、新しい仲間との交流も楽しみに当日を向かえた。

朝8時、城山登山口の駐車場で後藤CLから開会の言葉をいただきハイキングをスタートした。まずは、河川敷の遊歩道歩き。新年初顔合わせなので、年末年始はどうでした?など軽い会話をしながら気持ち良い道を進む。30分程歩くと皆身体も温まり、防寒着を脱いで体温調節、一般道に出ると蠟梅の花が咲いていて春の足音を感じた。



城山駐車場からスタート



気持ち良い河川敷の遊歩道(写真:後藤)



葛城山ロープウェイ (写真:後藤)



蠟梅の花

スタートから約一時間で長瀬・熊野神社に到着、手を合わせてバリエーションルート  
の山道へと入った。この日は山田さんと2人で先達係を任命され、地図とコンパス片手に先  
頭を歩いた。進む道は、最初の取り付きで少し慎重になったが、尾根は比較的分かりやす  
くスムーズだった。

山田さんは足取りが軽く、よそ見をすると距離が空くほど軽やかだった。前週は沼津ア  
ルプスで自主トレして気合も入っている、「今後のアルパインが楽しみ～」と心の中で思いな  
がら一緒に歩いた。

バリエーションルートの雰囲気は、2021年に井上さんが作成した報告書に「冒険心があ  
おられ・・・」と記録されていたので想像していたが、急坂直登、トラバース、木を跨いだり  
、枝の間をくぐったり、距離は短いものの、まさに森の中を冒険しているような道だっ  
た。

後藤会長が良く言う「整った登山道を歩いても面白くない」。最初はぴんと来なかったが、  
地形図を読めるようになり、高度計とコンパスで目的地にたどり着く楽しさが分かってき  
た。常に現在地を把握して歩くので、良く聞く「道迷い遭難」をしない技術もしっかり身に  
つけられる。少しずつ自身のスキルアップを感じられるのが嬉しい。



長瀬・熊野神社 (写真:後藤)



この日の先達係 山田さんと北村 (写真:後藤)

時々振り返り、皆がのぼる様子を写真に撮った。合谷さんと登山で一緒するのは、初参加の宝永山以来だが、ガタイが良いので迫力を感じた。勝又さんはノーハンドでグングン上る、斎藤さんは動きが軽快、ご一緒する機会が多い伊藤さん、松永さんはいつもながら一生懸命さが伝わってくる。最後尾で皆を見守りながら余裕で歩く井上さん、フォームが綺麗な後藤CL、加藤さんがフユイチゴを見つけて教えてくれた。視線を前に戻すと山田さんが20m離れていた(笑) 山好きの仲間と一緒に歩ける時間はいつも楽しい。



バリエーションルートをのぼる 全6枚



景色が開けて駿河湾が見えた、海の色が青く澄んで綺麗だった。前回の報告書でルート間違いをした場所に到達する。実際に見ると、やはり間違いそうな道だった。

良く見ると井上さんの報告書で読んだ、踏み後のあるトラバースルートがあった。すべりそうな場所だったので、後藤CLが全員の通過を見守った。242.8mの三角点「一之洞」に到着して立ち休憩したのち、三津からの一般登山道に合流した。



駿河湾



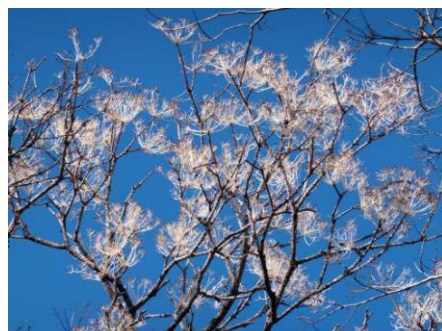
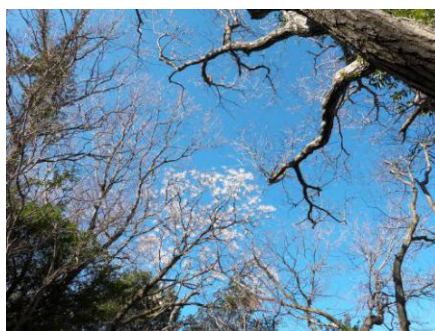
四等三角点「一之洞」(写真:後藤)

道が一気に明瞭になった。バリルートから合流したので市街地の歩道くらいに易しく歩きやすく感じた。霧氷のような白い木が一本あって皆で眺める。遠くて木の種類は判断できなかったが綺麗だった。皆のペースも上がり、手袋交換で1分立ち止まったら姿が見えなくなり速足でやっと追いついた(汗)。山頂に到着して集合写真を撮ってもらった。くっきりとはいかないが富士山も見えて清々しかった。



一般登山道に合流

白くて綺麗な樹木→  
(右:望遠)





山頂で全員の集合写真(写真:後藤)

山頂は冷たい風が吹き寒かったため、少し下った場所で昼食となった。食後に伊藤さんが綿毛の種を見つけて、斎藤さんが何の花か調べてくれたが、種だけでは判らなかった。伊藤さんが手に持って写真を撮らせてくれた。

1月は加藤さんと井上さんの誕生日、食後に祝福の気持ちを込めて記念写真を撮った。2人とも良い笑顔「ハッピーバースディ♪」



綿毛の種みつけた



誕生日の記念写真 加藤さんと井上さん

下山は道が平坦でスイスイ進んだ。途中、加藤さんが「やぶしょうが」を見つけて教えてくれた。赤い実がついた葉を見つけて写真を撮る。男梅岩・・・何の由来でついた岩名？と思ったが現物を見て、すぐ分かった。面白い岩の写真も撮った



ヤブショウガ



男梅岩(ノーベル製菓・男梅のキャラのような岩)

城山の分岐で、山頂まで行く5人と先に下山するメンバー(5人)に分かれた。山頂行きは、井上さん、伊藤さん、山田さん、松永さん、北村の5人

「山頂アタック隊」と名付けて、井上さん、山田さんと「無酸素登頂だ！ 難関は山頂下のヒラリーステップだ！」とジョークで盛り上がった(笑) 富士山は隠れていたが、山頂から見える伊豆の山々や街が一望できる眺めを5人で楽しんだ。



城山山頂から景色を眺める

下山後に駐車場近くの広場で加藤さんに応急処置の講習会をしていただいた。開始前の雑談で加藤さんから時々ハイヒールで歩くと姿勢が良くなるとの話があった。加藤さんは背筋がずっと伸びて歩く姿が綺麗だなあとずっと思っていたが、なるほどと関心した。自分も見習って若々しくいたい。

講習会は三角巾の折り方の実習、捻挫をした足を三角巾での固定する実演(加藤さん)、ザック、ストック、シュリングを使用して怪我人を背負う実習を交代で実施した。

三角巾は常に登山に携帯しているが、袋から出したのは初めてだった。実際のケガに人を前に迅速に動いたり、長距離を背負うのは厳しいと思うが、いざというときには役立たい。富士山で実際に怪我人を搬送したエピソードも聞かせて頂き、とても有意義な講習となった。



三角巾の結び方実習(写真:後藤)



捻挫の足固定(写真:後藤)



ザックとストックで怪我人を背負う実習(写真:後藤) 斎藤さん、「大丈夫？」

講習会終了後は、大仁駅に移動してレストラン「ひとやすみ」で新年の集いが開催された。加藤さんが進行役を務め、初めに後藤さんから開会のコメント

今日も良いバリエーションだった。発端丈山は410mといっても侮れない、勉強会も有意義だった。富士支部は会員が増え活動も順調。アルパインは麗峰の若手を中心に盛り上げてほしい。ハイキングは花が好きな人が楽しめる山行を計画していきたい。何よりも無事故が一番大事・・・15:20 乾杯

参加者は今年の抱負を紙に書き、加藤さんが面白く読みあけで宴会を盛り上げてくれた。ときおり書かれていないことを、ジョーク混じりに言って皆を笑わせてくれた。全員共通していたのは、今年も山やハイキングを頑張りたいというところ。ご一緒できる機会がたくさんありそうだ。この日は参加しなかった方も含めて交流できる機会を楽しみにしている。今年もよろしくお願いたします。

## 参加者の抱負(紹介順)

斎藤: 去年は入院やコロナ感染など健康の大切さを感じた年でした。

今年も皆さんと楽しく山登りをやっていきたいです。

勝又: 今年の一つでも多くの山行に参加したい。

山田敬: 雪山を極限まで頑張っ、体力つけて、夏バテしないように一年乗りきりたいと思います。

合谷: 平凡な日々が多かったので、今年月2回山行に参加したいです。

伊藤: 1. 体調に気をつけてハイキングにオール出席したい。

2. できたら北アルプスの爺ヶ岳に登ってみたい。

北村: 1. 昨年の6月に長泉麗峰に入会させて頂き半年経過した。地図読み、岩稜帯通過ルーファイ、多くの事を教えて頂いた。しっかり身につけるために、定例山行で実践経験を積んでいきたい。

2. アルパインをメインに頑張りたいが、父の影響で若いころから写真が好き。ハイキングにも参加させていただき、花の写真もたくさん撮りたい。ギンリョウソウとオヤマノボクチが見たい。

3. 個人山行では、今年もカメラを持って南アルプスを縦走したい。

キツイと聞く甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根の日帰り往復にトライしたい。

井上: 今年富士山をひょいと登れるようになりたいです。

松永: ハイキングを楽しみたい。もっと花の知識をつけていきたい。歩きに余裕ができれば山頂でコーヒーを淹れて飲んでみたい。ハイキングを通して山歩きの楽しみを見つけていきたい。

加藤: 1. 平の渡し～針の木沢～船窪小屋～三俣山荘～伊藤新道～七倉ダム

2. 富士支部では中山道 京都までの区間いいところ取りを歩く

3. 避難小屋を利用した2泊3日の山旅を数多く目指す

後藤: 去年は、怪我上がりだったが、登山は48回で、ハイキングは24回、アルパインは24回だった。初見の山、コース、ルートは、16座だった。

80歳まで現役を続ける意味でも、今年も、「新しい山・初見の山・新鮮な山」を多く上りたい。

なお、会は2月で創立30周年を迎える。30年間、いろいろあったが、大きな節目でもある。

ハイキング主流の中、アルパインは、引き続き、継続していきたい。

元気な若手も力を付けて来た。大いに期待したい。一緒に汗を流し、息を切らして、皆と頑張っていきたい。

また、山は、「安全・安心・安定」第一で、これをなくして、良い登山はありえない。そのためには、会として、しっかり学習活動を図りたい。

「れいほー」「おう!」「れいほー」「おう!」「れいほー」「おう!」





新年の集い 料理(写真:後藤)



スナップ写真 3枚



ハイキングルート概要

